

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料1-2-7
提出年月日	令和5年11月2日

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(第4条 地震による損傷の防止 (屋外重要土木構造物等及び津波防護施設の耐震評価における断面選定))

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221212-06	1	P9まとめ資料) 断面選定の観点について、KK7及び女川設 工認などの先行審査実績を踏まえ、配筋 変化部の重要性を整理し、説明するこ と。	R4.12.12	回答済	R5.7.24 ヒアリング	配筋の様子が耐震評価の結果に影響することを踏まえ、配筋の差 異を評価対象候補断面の整理の観点として追加した。	第557回ヒアリング 資料1-1『泊発電所3 号炉 設置許可基準規則等への適合状況に ついて (設計基準対象施設等) 第4条 地 震による損傷の防止 (DB04 r.3.27)』 p.4条-別添6-6,15,20,25,29,33,40 p.4条-別紙8-6,15,21,27,32,38,46	
221212-07	2	P9まとめ資料) 断層や地下水等の周辺状況の条件につい て、断面選定の観点の重要性を整理し説 明すること。	R4.12.12	回答済	R5.7.24 ヒアリング	断層の有無が耐震評価の結果に影響することを踏まえ、断層の有 無を評価対象候補断面の整理の観点として追加した。また、地下 水位の設定の考え方を追記した。	第557回ヒアリング 資料1-1『泊発電所3 号炉 設置許可基準規則等への適合状況に ついて (設計基準対象施設等) 第4条 地 震による損傷の防止 (DB04 r.3.27)』 p.4条-別添6-6,7,11,15 p.4条-別紙8-6,7,11,15	
221212-08	3	P25まとめ資料) 海水管ダクトの傾斜部について、配筋等 踏まえて断面選定の要否を整理し説明す ること	R4.12.12	回答済	R5.7.24 ヒアリング	海水管ダクトは、埋設深さごとに配筋が異なる構造となっており、傾斜部が2箇所 (最深部-中間部を傾斜部①、中間部-最浅部を傾斜部②とする。) 存在する。傾斜部の配筋は、2箇所とも埋設深さが深い方の配筋となっており、土圧の観点から、傾斜部①は最深部に包絡され、傾斜部②は中間部に包絡されるため、傾斜部の断面選定は不要と判断した。	第557回ヒアリング 資料1-1『泊発電所3 号炉 設置許可基準規則等への適合状況に ついて (設計基準対象施設等) 第4条 地 震による損傷の防止 (DB04 r.3.27)』 p.4条-別添6-20 p.4条-別紙8-21	
221212-12	4	P114まとめ資料) B-B断面に示されている厚さ800mmの壁の 損傷による、通水性への影響を整理し説 明すること	R4.12.12	回答済	R5.7.24 ヒアリング	スクリーン室の外側には津波防護施設としてRC造の3号炉取水 ピットスクリーン室防水壁及びMMRを設置することとしてお り、厚さ800mmの薄壁部に接している埋戻土の範囲は極めて限定的 である。薄壁部が損傷した場合においても取水ピットスクリーン 室に流入する埋戻土は微量であり、通水断面が閉塞することはない ものと考えられることから、通水性に影響を及ぼすおそれはない。	第557回ヒアリング 資料1-7『ヒアリング におけるコメント回答資料 (ID:221212- 12)』	
221212-13	5	P28まとめ資料) DG燃料油貯油槽トレンチの上蓋につい て、解析上の取扱いを整理し、波及的影 響の評価において別途説明するなど、評 価の考え方を整理して説明すること	R4.12.12	回答済	R5.7.24 ヒアリング	【(R5.7.24) ヒアリングでのご説明】 B1, B2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽トレンチの上蓋につい ては、B1, B2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽トレンチの一部であ り、上位クラスという位置付けである。上蓋については、基準地 震動により生じる地震力に対して損傷しないことを確認し、トレ ンチ内に設置されている配管等の上位クラス施設に波及的影響を 及ぼさないことを詳細設計段階で確認する。	第557回ヒアリング 資料1-8『ヒアリング におけるコメント回答資料 (ID:221212- 13)』	
				後日 回答 予定		【回答方針】 上蓋の解析上の取り扱いについて後日回答予定。		2024年3月予定
230724-14	6	資料1-7) スクリーン室の薄壁部が損傷した場合の 津波バウンダリへの影響や防水壁の設置 状況も踏まえて、当該部に求められる機 能について整理し、説明すること。	R5.7.24	後日 回答 予定				2024年3月予定
230724-16	7	資料1-1 127ページ) 二次元地震応答解析の実施に当たっては 用いる断面と得られた結果をどのように 三次元モデルに入力するか等 (荷重の時 刻選定含む)、設工認での説明も見通し た上で評価方針に関する記載の充実を検 討し、説明すること。	R5.7.24	後日 回答 予定				2024年3月予定

*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。